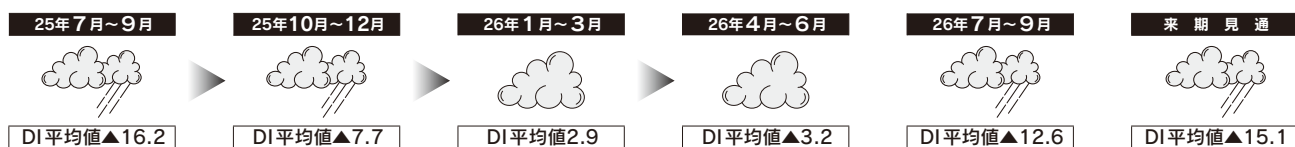


県内中小企業(製造業)景況動向

平成26年7月～9月期

本会調査結果概要



業種別景況動向

食料品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲4.6	▲10.6	▲9.9	▲1.6

前年同期比の売上高DIは▲16.6、収益性DIは▲3.2で、両方を合わせたDI平均値は▲9.9となり、「小雨」模様がが続いている。来期見通しは、8.3ポイント上昇して▲1.6となり、唯一好転し「曇」模様に転じる見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは▲9.7、収益性DIは▲17.9となった。

また、雇用人員判断DIは▲7.2、設備操業率DIは▲11.5、設備投資実施率は33.3%となった。

繊維・同製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲20.4	▲4.2	▲11.0	▲28.6

前年同期比の売上高DIは▲3.5、収益性DIは▲18.5で、両方を合わせたDI平均値は▲11.0となり、「小雨」模様に転じている。来期見通しは、17.6ポイント下降して▲28.6となり、「小雨」模様がが続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは▲20.7、収益性DIは▲31.8となった。

また、雇用人員判断DIは▲16.7、設備操業率DIは▲47.6、設備投資実施率は10.3%となった。



概況

売上高と収益性を合わせたDI平均値（前年同期比）については▲12・6となり、前回調査（26年4～6月期）から9・4ポイント下降している。来期見通しにおいては、▲15・1となっている。

売上高DI（前年同期比）については▲9・9となり、前回調査から12・3ポイント下降している。来期見通しにおいては、▲13・9となっている。

収益性DI（前年同期比）については▲15・3となり、前回調査

から6・5ポイント下降している。来期見通しにおいては、▲16・3となっている。

業況DI（前年同期比）については、「好転」したとする企業は10・3%、「悪化」したとする企業は25・9%で▲15・6となり、前回調査から13・2ポイント下降している。来期見通しにおいては▲15・1となっている。

原材料価格DI（前期比）については25・9となり、前回調査から1・1ポイント下降している。

販売価格DI（前期比）については▲2・1となり、前回調査から2・6ポイント下降している。

資金繰りDI（前期比）については▲13・9となり、前回調査から6・5ポイント下降している。

金融機関の態度DI（前期比）については▲1・6となり、前回調査から1・1ポイント下降している。

設備投資実施率については26・7%となり、前回調査より0・8ポイント上昇している。業種別で最も高い実施率となったのは、「金属・同製品」の46・9%で、目的別では、「品質向上」が37・5%でトップであった。

設備操業率DI（前期比）については、▲14・7となり、前回調査から4・0ポイント下降している。

紙・加工品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲6.7	7.0	20.6	15.0
前年同期比の売上高D Iは30.0、収益性D Iは11.1で、両方を合せたD I平均値は20.6となり、「薄日」模様に転じている。来期見通しは、5.6ポイント下降して15.0となり、「薄日」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲20.0、収益性D Iは▲22.2となった。 また、雇用人員判断D Iは▲22.2、設備操業率D Iは▲33.3、設備投資実施率は20.0%となった。			

木材・木製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
22.2	▲22.2	▲61.4	▲37.6
前年同期比の売上高D Iは▲72.7、収益性D Iは▲50.0で、両方を合せたD I平均値は▲61.4となり、「雨」模様に転じている。来期見通しは23.8ポイント上昇して▲37.6となり、「雨」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲16.7、収益性D Iは▲33.3となった。 また、雇用人員判断D Iは不足、過剰とも0.0%で0.0、設備操業率D Iは▲9.1、設備投資実施率は0.0%となった。			

金属・同製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲5.7	▲14.5	▲8.9	▲15.5
前年同期比の売上高D Iは▲8.9、収益性D Iは▲8.8で、両方を合せたD I平均値は▲8.9となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは、6.6ポイント下降して▲15.5となり、「小雨」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは9.1、収益性D Iは▲14.2となった。 また、雇用人員判断D Iは15.0、設備操業率D Iは9.1、設備投資実施率は46.9%となった。			

窯業・土石製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
14.8	2.9	▲17.1	▲16.7
前年同期比の売上高D Iは▲12.2、収益性D Iは▲21.9で、両方を合せたD I平均値は▲17.1となり「小雨」模様に転じている。来期見通しは、0.4ポイント上昇して▲16.7となり、「小雨」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲9.3、収益性D Iは▲20.0となった。 また、雇用人員判断D Iは6.9、設備操業率D Iは▲24.1、設備投資実施率は19.4%となった。			

プラスチック製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
14.3	10.0	30.0	0.0
前年同期比の売上高D Iは40.0、収益性D Iは20.0で、両方を合せたD I平均値は30.0となり、「薄日」模様が続いている。来期見通しは、30.0ポイント下降して0.0となり、「曇」模様に転じる見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは増加、減少とも50.0%で0.0、収益性D Iは好転、悪化ともに0.0%で0.0となった。 また、雇用人員判断D Iは20.0、設備操業率D Iは20.0、設備投資実施率は20.0%となった。			

機械・機器

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
17.1	6.5	▲15.2	▲17.3
前年同期比の売上高D Iは▲7.3、収益性D Iは▲23.1で、両方を合せたD I平均値は▲15.2となり「小雨」模様に転じている。来期見通しは、2.1ポイント下降して▲17.3となり、「小雨」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは増加、減少とも22.0%で0.0、収益性D Iは▲5.5となった。 また、雇用人員判断D Iは11.4、設備操業率D Iは▲5.9、設備投資実施率は33.3%となった。			